

議案第 2 号

令 7 都 市 計 画 第 1 2 5 0 号
令和 8 年（2026 年）1 月 29 日

山口県都市計画審議会会長 様

山口県知事 村 岡 嗣 政

下関都市計画道路の変更について（諮問）

下記のとおり都市計画道路を変更することについて、都市計画法（昭和 43 年法律第 100 号）第 21 条第 2 項において準用する同法第 18 条第 1 項の規定により、貴会の意見を求めます。

記

下関都市計画道路の変更（山口県決定）

下関都市計画道路の変更（山口県決定）

都市計画道路中 3・3・9 長府綾羅木線を次のように変更する。

種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
	番 号	路 線 名	起 点	終 点	主 な 経過地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅 員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
幹 線 街 路	3・3・9	長府綾羅木線	下 関 市 長 府 印 内 町	下 関 市 稗 田 西 町	下 関 市 秋 根 南 町 一 丁 目	約 7,220m	地表式	4 車線	25m	JR 山陽新幹線と立体交差 1 箇所 JR 山陽本線と立体交差 1 箇所 JR 山陰本線と立体交差 1 箇所 中国自動車道と立体交差 1 箇所 幹線街路 3・3・7 下関駅福江線 と立体交差 1 箇所 幹線街路と平面交差 8 箇所	
	幅員の内訳		22m			約 1,970m					
			25m			約 2,650m					
			27m			約 1,800m					
			32m			約 800m					
	なお、長府安養寺一丁目～勝谷新町一丁目に延長約 1,130m 幅員 11.5m～45m の取付部を設ける。										

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理 由

3・3・9 長府綾羅木線

本路線は、下関市長府印内町から広域交通拠点である JR 新下関駅周辺を經由し、同市稗田西町に至る、市中央部を東西に連絡する都市内骨格道路に位置付けられる幹線街路であり、昭和 21 年に都市計画決定されています。

このたび、下関市長府の印内交差点から滑石交差点に至る区間の道路事業に際し、詳細な調査・設計の実施により、道路線形や道路構造の見直しが必要となったため、区域の一部を変更しようとするものです。

新 旧 对 照 表

新 旧	種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
		番 号	路線名	起 点	終 点	主 な 経 過 地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
旧	幹 線 街 路	3・3・9	長府綾羅木線	下 関 市 長府印内町	下 関 市 稗 田 西 町	下 関 市 秋 根 南 町 一 丁 目	約 7,180m	地表式	4 車線	22m	JR 山陽新幹線と立体交差 1 箇所 JR 山陽本線と立体交差 1 箇所 JR 山陰本線と立体交差 1 箇所 中国自動車道と立体交差 1 箇所 幹線街路 3・3・7 下関駅福江線 と立体交差 1 箇所 幹線街路と平面交差 8 箇所	
		幅員の内訳		22m			約 2,920m					
				25m			約 1,660m					
				27m			約 1,800m					
				32m			約 800m					
新	幹 線 街 路	3・3・9	長府綾羅木線	下 関 市 長府印内町	下 関 市 稗 田 西 町	下 関 市 秋 根 南 町 一 丁 目	約 7,220m	地表式	4 車線	25m	JR 山陽新幹線と立体交差 1 箇所 JR 山陽本線と立体交差 1 箇所 JR 山陰本線と立体交差 1 箇所 中国自動車道と立体交差 1 箇所 幹線街路 3・3・7 下関駅福江線 と立体交差 1 箇所 幹線街路と平面交差 8 箇所	
		幅員の内訳		22m			約 1,970m					
				25m			約 2,650m					
				27m			約 1,800m					
				32m			約 800m					
		なお、長府安養寺一丁目～勝谷新町一丁目に延長約 1,130m 幅員 11.5m～45m の取付部を設ける。										